

参加した コース	社会課題探究コース			訪問国	モロッコ
学校名	静岡県立静岡高校	氏名	アサディあや	学年	2年

## 留学の概要

- 1 留学地域 モロッコ (カサブランカ市)
- 2 留学期間 2025年7/29～2025/8/21
- 3 留学テーマ 日本に寄付文化を広く根付かせるためにはどのような取り組みが必要か？

## テーマと留学先の設定理由

私は社会課題に強い関心を抱いてきた。私の両親地元静岡でNPO活動を行い、私はその様子を幼い頃から身近で見てきた。両親が主に行っていた活動は募金活動でその募金がどのような生活をしている人に送られるのか聞いてきた。幼いながらもそのような辛い生活をしている人がいることに強い衝撃と悲しみを覚え、そのような人たちを少しでも救いたいという想いが芽生えるようになった。私は、寄付にはみんなが思っている以上に大きな力があると考えている。寄付とは必ずしもお金だけではなく、物や人々の隣人に対する善意も一種の寄付となりうる。



## 研修内容等

現地のNPO団体の代表の方にインタビューをしたり、義援金プロジェクトの建設現場を見学させてもらう。また地元にある、寄付で成り立っている施設の見学、その施設長へのインタビューを主に行った。街の様子も視察し、日本に取り入れられる要素がないか考察した。



## 感想

今回の留学はとにかく楽しいものであった。様々な人と出会い、話し、様々な場所に行っているいろいろなものを見た。ずっと日本に暮らしてきて私にとって現地では何をしても新しい発見の連続であった。現地で使われる言語はアラビア語とフランス語であり、そのどちらも流暢のように話せるわけではなかったが、色々な方法で相手とコミュニケーションをとろうとしたことは大変だったが楽しかった。モロッコに留学することは、私の中で大きな一歩であった。高校2年の夏休みに3週間海外にいたことで普通の高校2年生が夏休みに行く進路関係のことができなかったことを現地で焦ったこともあったが、今思い返してみてもその時にしかできないことに全力で取り組んでいたことは本当に良かったことだと思う。

私は今回の留学で非常に大きく成長することができたと思う。それは他ではないこのトビタテ留学 JAPAN のプログラムだからこそだと思う。トビタテ留学は事前の準備から事後の研修、報告書までやるのが本当に盛りだくさんだ。正直に言うと、課題が出されるたびにこなすのを辛いと思ったこともあるが、自分と向き合ったり、新しい仲間と出会ったりするのは自分にとって良い刺激となった。

今回の留学で培った力や経験を生かして、これからの人生を歩み静岡や日本に貢献していきたい。

